裸足の伯爵夫人（1954）

THE BAREFOOT CONTESSA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ／イタリア
色彩 Color
時間 131分
初公開日 1954/11/11
公開情報 松竹＝ＵＡ

【解説】

マンキウィッツ初のカラー作品は、Ｊ・カーディフのカメラ鮮やかな、重厚感のある大作。一人のスター女優の悲運の生涯を、彼女を売り出した映画監督やプロデューサーの目から回想する、語りのスタイルにマンキウィッツらしいうまさといやらしさが同居していた。マドリッドのカフェで踊る裸足のダンサー、マリア（ガードナー）に目をつけた映画監督のハリー（ボガート）は宣伝部長、プロデューサーを引き連れ、眼鏡に適った彼女をスカウト。チネチッタ撮影所での新作に起用し、宣伝の効果もあり作品は大ヒット。マリアはたちまち大スターとなる。妻殺しで起訴された父の法廷に立つという怖いもの知らずの行動もプラスに評価され、彼女はまさに飛ぶ鳥を落とす勢いだった。南米の富豪のヨットに遊び、リビエラへと赴いたマリアは、衝動的にジプシーの踊りの輪に加わる（いきいきと舞うガードナーが素晴らしい）。これを見たファブリーニ伯爵（ブラッツィ）は彼女に一目惚れし、早速週末のパーティのゲストに迎える。そして、求婚。かつての裸足のダンサーは伯爵夫人となるのだが、夫は戦傷による性的不能で、初夜の夜、診断書を見せて詫びるのだった。が、妊娠をしたマリア。苦悩する彼女を慰めようと伯爵家を訪れたハリーが夫の腕の中に見たものは、不貞を疑って彼に撃たれた、再び息をすることのないマリアだった……。後半はかなり男性優位的な論理で運ばれて興ざめだが、ガードナーの成熟した美しさの賜物で、中盤までは一気に見させられる。プロデューサーを演じたオブライエンはアカデミー助演賞を受賞。

【クレジット】

監督	ジョセフ・Ｌ・マンキウィッツ	Joseph L. Mankiewicz	
製作	フォレスト・Ｅ・ジョンストン	Forrest E. Johnston	
脚本	ジョセフ・Ｌ・マンキウィッツ	Joseph L. Mankiewicz	
撮影	ジャック・カーディフ	Jack Cardiff	
編集	ウィリアム・ホーンベック	William Hornbeck	
音楽	マリオ・ナシンベーネ	Mario Nascimbene	
出演	ハンフリー・ボガート	Humphrey Bogart	ハリー・ドーズ
	エヴァ・ガードナー	Ava Gardner	マリア・ヴァルガス
	ロッサノ・ブラッツィ	Rossano Brazzi	ヴィンチェンツォ・トルラート＝ファヴリーニ伯爵
	エドモンド・オブライエン	Edmond O'Brien	オスカー・マルドゥーン
	ヴァレンティナ・コルテーゼ	Valentina Cortese	エレアノーラ
	マリウス・ゴーリング	Marius Goring	アルベルト・ブラヴォーノ
	エリザベス・セラーズ	Elizabeth Sellars	ジェリー
	ウォーレン・スティーヴンス	Warren Stevens	カーク・エドワーズ
	フランコ・インテルレンギ	Franco Interlenghi	ペドロ・ヴァルガス

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

マリ・アルドン	Mari Aldon	マーナ
アルベルト・ラバグリアティ	Alberto Rabagliati	
エンツォ・スタヨーラ	Enzo Staiola	
ベッシー・ラヴ	Bessie Love	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.